

伊予市長職務執行者あいさつ

伊予市長職務執行者

市田 勝久



本格的な春の訪れとともに、旧伊予市、旧中山町、旧双海町が新設合併し、新「伊予市」が誕生しました。

新「伊予市」は、面積194.47km²、人口4万人余として発足したものです。

さて、新「伊予市」誕生に至る道のりを改めてかえりみますと、豊かな自然と美しい風土に恵まれ、また温厚で勤勉な住民の人柄など共通する風習を多くもち、かねてから緊密な関係にありました1市2町は、結束して「ひと・まち・自然が出会う郷」づくりをめざすという志において一致し、平成16年1月8日に任意

合併協議会を設立して以来、約1年3か月にわたり、精力的に協議を重ね、この歴史的な日を迎えることができました。

ところで、今日、わが国は厳しい経済状況はもとより、先のない国際情勢とともに、環境、安全、年金、福祉、医療、教育など、複雑かつ多様化する多くの課題を抱えています。とりわけ、行財政改革は緊急の課題とされており、地方自治体を取り巻く状況は、「三位一体改革」のさらなる推進でますます地方分権が加速され、まさに変革の時代を迎えています。

そのような社会情勢が激変する中、地理的・歴史的にも深いつながりのある伊予市、中山町、双海町が一つになることは、それぞれの「まち」の伝統・文化など、豊かな自然と地域の特性を活かし、また、尊重しながら「郷づくり」を基本としたすばらしい「ま

ち」になっていくものと信じています。

これからの「まち」づくりは、これまで以上に市民の参画、市民との協働が重要になります。そのためには、一層の市民の皆さんのご協力とご支援をいただき、自主的・主体的な改革を実施し、時代に整合した行政体制へ強化し、多様な施策を展開していくことが必要です。

これからは、かつて諸先輩

方が経験したことのない厳しい試練も覚悟しなければなりません。この試練を乗り越えて新たな道を切り開いて行くことこそ、私たちに課せられた責務であると思います。最後に、これまで新「伊予市」誕生のために、ご尽力をいただきました方々に、改めて深く感謝を申し上げます。今後とも、新市発展のために更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新「伊予市」誕生

平成17年4月1日、伊予市・中山町・双海町の1市2町が合併し、新「伊予市」が誕生しました。



▲伊予市役所玄関前での開庁式。テープカットのようす。



▲中山地域事務所では看板が設置された。



▲双海地域事務所では名称板の除幕が行われた。

4月1日、 新たな歴史がスタート

8時、伊予市の主たる事務所である伊予市役所の玄関前で開かれた開庁式には、旧市町の首長や議員、職員など約90人が出席。初めに、新市の市長が決まるまでの間、職務を執行する市田勝久市長職務執行者が『すばらしい「まち」づくりのため、これから市民との協働を図りながら、新たな道を切り開いていきたいと思います。』とあいさつ。次に、泉圭一県議会議員から祝辞をいただき

ました。続いて、旧市町の首長など7人によるテープカットが行われ、新「伊予市」の誕生を祝いました。
また、同時刻に中山・双海地域事務所でも職員らが集まる中、開庁式が行われました。各地域事務所長のあいさつが行われた後、中山地域事務所では看板の設置が、双海地域事務所では看板の設置が、双海地域事務所では地域事務所名称板の除幕式が行われました。

新「伊予市」誕生



◀旧伊予市長、旧双海町
長から市長職務執行者
への事務引継ぎ。

▶職員
の辞令交付式。各
部課長一人ずつに辞令
が渡された。



開庁式が終わり、市長室では旧伊予市長、旧双海町長から市田市長職務執行者への事務引継ぎが行われました。伊予市の公有財産や債権、基金の残高、新市発足後の主な懸案事項などについて確認を行

い、旧市町長と市長職務執行者それぞれが引継書に押印しました。続いて、職員の辞令交付式が行われ、市長職務執行者から各部課長に辞令が手渡されました。



伊予市の概要

面積 194.47km²
人口 41,082人
世帯数 14,838世帯
(平成17年3月末日現在)

広報においては、伊予市内の各地区を次のように呼ぶこととします。

旧伊予市 → 本庁地区(伊予地域事務所管内)

旧中山町 → 中山地区(中山地域事務所管内)

旧双海町 → 双海地区(双海地域事務所管内)

※旧伊予市内にあった本庁地区は、郡中地区と改めます。

私自身、愛媛を訪れたことはありませんが、市章作成にあたっては資料などを見て、伊予の美しい自然やすばらしい文化を知り、少しでも形に表せたらと願ってデザインしました。

今後は、この市章が永年にわたって市民の皆さんに愛され親しまれますように、そして、伊予市がますます発展していくよう願っております。

市章の最優秀作品
をデザインした
しぎ まさあき
信貴 正明さん
(新潟県燕市)



「い、よ」の文字を元に、豊かな緑や海などの自然や太陽、人々が未来へ躍動する姿を「無限大∞」の形に重ね合わせて表現したものの。伊予市がさらに発展、飛躍していく姿を表しています。

デザインの趣旨

伊予市の市章です

